

# 『全国学力・学習状況調査』 個票データ等貸与の概要

～貸与データと貸与申出方法、過去の利用例、よくある質問等～

文部科学省 総合教育政策局 調査企画課 学力調査室  
2023.8.25

# 1. 全国学力・学習状況調査について

## 調査の概要

◇ 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導改善に役立てることを目的とし、平成19年度から現在まで実施している。対象は国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒。

	本体調査						経年変化分析調査		保護者に対する調査		
	集計児童生徒数 (実施者数：万人)		教科に関する調査			質問紙調査		集計児童生徒数及び学校数 (実施者数：千人)		集計児童生徒数及び学校数 (実施者数：千人)	
	小学校	中学校	国語・ 算数／数学	理科	英語 (中学校のみ)	児童生徒 質問紙	学校質問紙	小学校	中学校	小学校	中学校
平成19年度	114	108	○			○	○				
平成20年度	116	108	○			○	○				
平成21年度	115	108	○			○	○				
平成22年度	27(※)	44(※)	○			○	○				
平成23年度	※東日本大震災により実施せず										
平成24年度	26(※)	44(※)	○	○		○	○				
平成25年度	112	107	○			○	○	12(220校)	23(240校)	14(391校)	26(387校)
平成26年度	109	106	○			○	○				
平成27年度	107	106	○	○		○	○				
平成28年度	103	104	○			○	○	22(430校)	52(521校)		
平成29年度	101	102	○			○	○			55(1153校)	67(692校)
平成30年度	104	101	○	○		○	○				
平成31年度	104	98	○		○	○	○				
令和2年度	※新型コロナウイルス感染症により実施せず										
令和3年度	101	93	○			○	○	32(600校)	73(749校)	30(595校)	67(738校)
令和4年度	98	93	○	○		○	○				
令和5年度	98	92	○		○	○	○				

注1) ※は抽出調査による。

注2) ○は調査を実施した年。

注3) 集計児童生徒数及び学校数は結果公表資料の集計対象数である。貸与する個票データについては、後日実施等のデータも含まれるため貸与のデータ数とは必ずしも一致していない。

# 2. 個票データ等の貸与の概要

## 1 データ貸与の趣旨・目的

- 国はこれまで、学校教育の成果や課題を適切に分析・説明する観点より、個票データ等については文部科学省や国立教育政策研究所の委託研究で活用してきたが、大学等の研究者による多様な学術研究における分析や、公的機関の職員等による教育施策の改善・充実に促進するため、平成29年3月にガイドラインを策定し、個票データ等の積極的な貸与を開始した。

## 2 データの種類

- 個票データ(本体調査、経年変化分析調査、保護者に対する調査)
  - ・児童生徒ごと又は学校ごとに、各教科の正答数等の解答状況や質問紙の回答状況等を一覧化したもの。(もっとも詳細なデータ)
  - ・年に3回程度、申出を受け付け。
  - 有識者会議による審査あり。
- 匿名データ(本体調査)
  - ・個票データから一定割合(10%程度)を抽出し、匿名化処理をしたデータ。
  - なお、令和5年度の匿名データ(生徒、中学校)については、英語「話すこと」調査の日程を分散して実施したことから、英語「話すこと」調査を当日実施した生徒の個票データを基にして匿名化処理をしたデータとなっている。
  - ・随時貸与。有識者会議の審査は省略可能。
- パブリックユースデータ
  - ・匿名データと同様の変数構成で、データ分析の方法を学ぶための疑似データ。
  - ホームページからダウンロード可能。

## 3 個票データの貸与に係る審査について

- ◆有識者会議による審査(非公開)を経て、文部科学省が貸与の可否を決定。

### 審査のポイント

※序列化や過度な競争が生じないように  
十分配慮する観点から審査

- ①全国学力・学習状況調査の目的に沿った貸与
  1. 我が国の児童生徒の学力、学習状況又は生活習慣等の把握・改善を目的としていること。  
または
  2. 我が国(又は教育委員会)の教育施策の改善・充実に資することを目的としていること。
- ②データの適正な保管・管理
  - ・利用者や利用場所等が限定されていること(外部委託の有無を含む)。
  - ・情報セキュリティ対策が組織的に行われていること等。

### 3. 個票データの詳細、質問例

**児童生徒ローデータ:**児童生徒ごとに、教科調査の解答状況及び児童生徒質問紙調査の回答状況等を一覧にしたもの。  
**学校ローデータ:**学校ごとに、教科調査の平均正答数等、児童生徒質問紙調査の回答割合及び学校質問紙調査の回答状況等を一覧にしたもの。

#### 本体調査個票データ(基本情報と教科)

##### <児童生徒ローデータ>

学校名\_学校コード  
組  
性別  
正答数  
正答率  
学力層(A層～D層)  
正答数(領域別、観点別、形式別)  
正答率(領域別、観点別、形式別)  
解答類型(類型1、類型2……)  
設問別正誤(正答、誤答、無解答)

##### <学校ローデータ>

学校名\_学校コード  
都道府県名\_都道府県コード  
設置者名\_設置者コード  
国公立  
学校種(小・中学校、特別支援、義務教育学校)  
地域規模(大都市、中核市、その他の市、町村)  
学校の平均正答率  
学力層(A-D層)別割合

#### 本体調査個票データ(学校質問紙調査)

##### 【質問例】

**Q 児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか**

① そう思う／② どちらかといえば、そう思う／③ どちらかといえば、そう思わない／④ そう思わない

**Q 前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか**

① ほぼ毎日／② 週3回以上／③ 週1回以上／④ 月1回以上／⑤ 月1回未満

**Q 学習課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している**

① よくしている／② どちらかといえば、している／③ あまりしていない／④ 全くしていない

#### 本体調査個票データ(児童生徒質問紙調査)

##### 【質問例】

**Q 朝食を毎日食べていますか**

① している／② どちらかといえば、している／③ あまりしていない／④ 全くしていない

**Q 自分には、よいところがあると思いますか**

① 当てはまる／② どちらかといえば、当てはまる／③ どちらかといえば、当てはまらない／④ 当てはまらない

**Q 算数[数学]の勉強は好きですか**

① 当てはまる／② どちらかといえば、当てはまる／③ どちらかといえば、当てはまらない／④ 当てはまらない

**Q 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか**

① よくしている／② ときどきしている／③ あまりしていない／④ 全くしていない

#### 保護者に対する調査個票データ(保護者質問紙調査)

##### 【質問例】

**Q 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束を守るように促していますか**

① いつもしている／② よくしている／③ ときどきしている／④ あまりしていない／⑤ まったくしていない

**Q お子さん1人について、学校以外の教育(学習塾や習い事)にかける1か月あたりの平均の支出はどれくらいですか**

① 支出はまったくない／② 5千円未満／③ 5千円以上～1万円未満／④ 1万円以上～2万円未満／⑤ 2万円以上～3万円未満／⑥ 3万円以上～5万円未満／⑦ 5万円以上

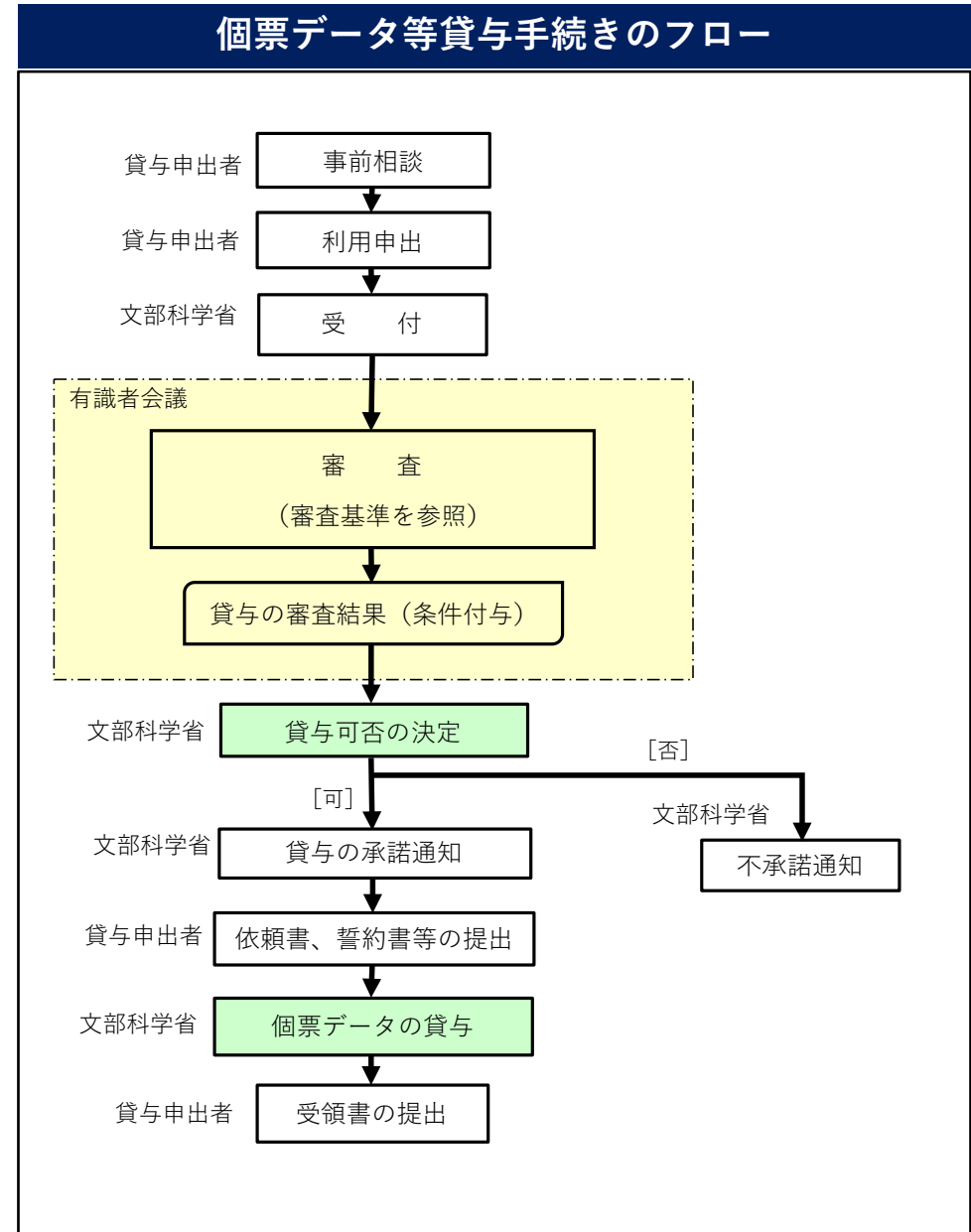
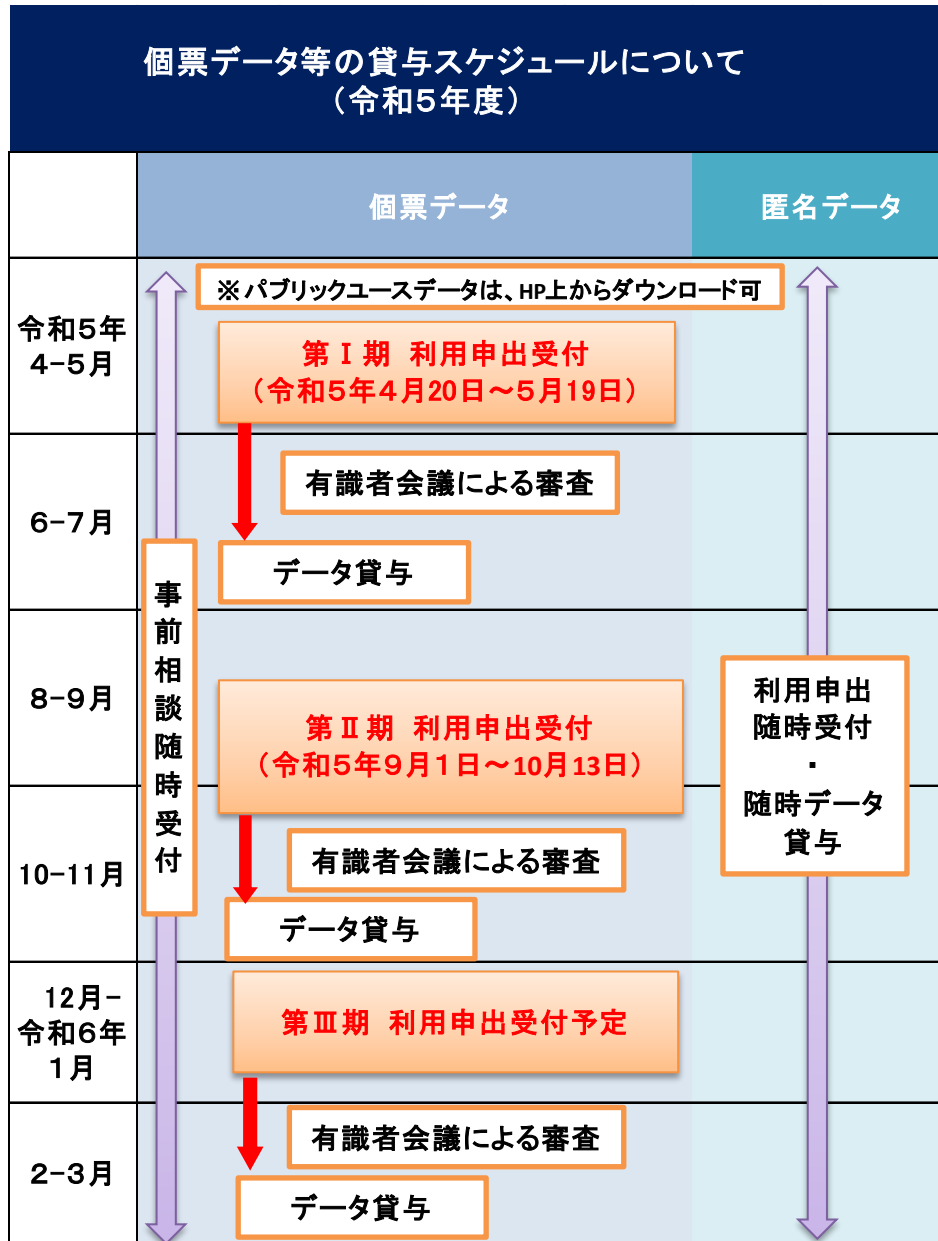
**Q お子さんが小学校に入学する前の時期に、どの程度、絵本などの読み聞かせをしましたか**

① ほとんど毎日／② 週に3日から4日／③ 週に1日から2日／④ 月に1日から3日／⑤ ほとんどしなかった

## 4. これまでのデータ貸与による研究課題例

個票データの種類	研究等の名称	所属機関
本体調査	理科の見方・考え方が習得できる科学教育プログラム開発とICTを用いた評価指標構築	大学
匿名データ	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 ～新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題～	国立研究所
本体調査	中学生の英語力の構造解明と思考力・判断力・表現力の育成に関する研究	大学
匿名データ	アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントの一体的進展のための理論と方策に関する研究 ～センゲ「学習する学校」論を第三の視点として～	大学
匿名データ	日本語支援を考えた国語科教科書理解のための言語的知識の特定とその理解過程の可視化	大学
本体調査 保護者に対する調査	家庭内コミュニケーションが子どもの学力に及ぼす影響の研究	大学
本体調査	全国学力・学習状況調査の学校別結果公表の有無が学校の教育手法および児童・生徒の学力と非認知能力に与える影響について	大学
本体調査	労働法制改編に伴う教員の新たな勤務時間管理方策の影響と課題に関する調査研究	大学
本体調査	中学生英語学力の包括的な実態解明	大学
本体調査 保護者に対する調査	ポストコロナの教育格差研究：世界的課題の解明とオンラインでの調査・実験手法の革新	大学
匿名データ	機械学習を用いた全国学力・学習状況調査のアンケート結果からの学力推定	大学
匿名データ	グローバル世界を視野とする学力・非認知能力の効果的 school モデル	大学

# 5. データ貸与の流れ



※本スケジュールは状況に応じて変更する可能性があります

## 6. よくある質問(抜粋)

※「全国学力・学習状況調査」個票データ等貸与に関する詳しい情報は、文部科学省HPへ  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/1386492.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/1386492.htm)

### 【データについて】

#### Q1 貸与可能なデータの種類・内容等はどのようなものでしょうか。

- 1) 本体調査個票データ(平成19～22年度、平成24～31年度、令和3～5年度)  
「児童生徒ローデータ」と「学校ローデータ」の2種類があり、教科、児童生徒質問紙、学校質問紙の回答結果や基本的な集計値が貸与できます。
- 2) 経年変化分析調査個票データ(平成25年度、平成28年度、令和3年度)
- 3) 保護者に対する調査個票データ(平成25年度、平成29年度、令和3年度)

#### Q2 どのような形式でデータは提供されますか。

データはCSVファイルで提供しています。

#### Q3 データの貸与期間はどれくらいですか。

データの貸与期間は利用目的によって異なりますが、基本的に貸与日から1年間で、更に1年間の延長申請が可能です。

#### Q4 データ貸与にあたって手数料等の費用は発生しますか。

データ貸与にあたって手数料は発生しません。ただし、必要な諸経費は申出者において負担していただくことが必要です。

## 【利用者について】

### Q8 大学等での研究者であれば、個票データの利用申出は可能でしょうか。

学術研究の発展に資することを目的とする申出者の範囲は、大学等に所属する研究者であって、専ら研究に従事する者に限られます。

### Q9 大学院生もデータの利用申出はできますか。

申出者は大学等に所属する研究者であって、専ら研究に従事する者に限られますが、大学院生も利用者にできる場合があります。

### Q10 他の研究者との共同研究や、複数人で利用することはできますか？

複数人で利用する場合は、申出書に利用者全員について記載し、各所属機関のセキュリティ要件等を満たしていただくことが必要です。

### Q11 民間事業者でもデータの利用申出は可能でしょうか。

民間事業者のうち、科学研究費補助金取扱規程第2条第1項第4号及び同条第4項に規定する研究機関が、学術研究の発展に資することを目的とした研究を行う場合には、データ貸与の申請は可能と定めています。

### Q12 海外で研究を行う場合でも利用申出は可能でしょうか。

データの利用、保管及び管理場所は日本国内に限定しています。



### 【利用申出時、貸与中の手続等】

#### Q16 申出書を提出してから貸与できるまでどのくらいの期間かかりますか。

個票データは、利用申出受付開始から貸与の諾否決定まで約2～3か月程度かかります。匿名データは利用申出の申請から貸与の諾否まで約1～2か月程度かかります。

#### Q17 申出書の提出前に、相談に応じてもらうことはできますか。

個票データ、匿名データに関わらず、事前相談を受け付けています。

#### Q22 修士論文や博士論文の執筆のため利用申出することは可能ですか。

大学院生がデータの申出者となることはできませんが、申出者とともに研究等を行った成果物を活用して、修士論文や博士論文の執筆にあたることは可能です。

### 【成果物の公表について】

#### Q31 成果物の公表にあたって、文部科学省や教育委員会等の承諾は必要ですか。

公表に当たっては、事前に公表を予定する成果について任意の様式で文部科学省へ報告し、文部科学省の確認を経た上で公表してください。

本件問合せ先：

総合教育政策局調査企画課学力調査室

電話番号：03-5253-4111(代表)(内線)3759

メールアドレス：[gakucho@mext.go.jp](mailto:gakucho@mext.go.jp)